

令和4年度 学校評価（最終）について

- 1 対象： 本校教職員 70人（管理職，特別支援学校看護師を除く）
- 2 実施期間： 令和4年12月17日（土）～令和4年12月28日（水）
- 3 内容： 16の評価項目（7のカテゴリー）
 - ※ カテゴリーは，学校経営方針との関連で設定
 - ※ カテゴリー内に複数の「評価項目」を設定する。評価項目は，「重点取組事項との関連で設定するもの」（重点）と「それ以外のもの」（通常）で構成する。

4 評価方法

- ア 4段階評価「A・B・C・D」（表1，表2参照）
- イ 評価（判断）が困難な項目に関しては，「無回答：N」とする。

表1 評価基準表①

評価	評価基準
A	<p>（実施「済」，かつ，ねらい「十分達成」）</p> <p>○ 予定された取組が，計画的に（年間の分掌計画に掲げたとおり）実施され，ねらいの80%以上が達成されている。</p>
B	<p>（実施「済」，かつ，ねらい「まあまあ達成」）</p> <p>○ 予定された取組が，計画的に（年間の分掌計画に掲げたとおり）実施され，ねらいの50%以上80%未満が達成されている。</p> <p>（実施：「未」，かつ，計画性「十分」）</p> <p>○ 今後，実施予定の取組（現段階では計画進行中のため未実施である）に関する計画が，現時点で年度初めの分掌計画に基づき，係での検討や職員への提案・周知がなされ，進められている。</p>
C	<p>（実施：「済」，かつ，ねらい「やや未達成」）</p> <p>○ 予定された取組が，計画的に（年間の分掌計画に掲げたとおり）実施され，ねらいの20%以上50%未満が達成されている。</p> <p>（実施：「未」，かつ，計画性「やや十分」）</p> <p>○ 今後，実施予定の取組（現段階では計画進行中のため未実施である）に関する計画が，現時点で進められつつある。</p>
D	<p>（実施：「済」，かつ，ねらい「未達成」）</p> <p>○ 予定された取組が，計画的に（年間の分掌計画に掲げたとおり）実施され，現時点でねらいが19%未満達成されている。</p> <p>○ 予定された取組が，実施時期を逃して未実施の状況にある。</p> <p>（実施：「未」，かつ，計画性「不十分」）</p> <p>○ 重点取組事項の具体的な取組が，校務分掌の係業務として年間計画（校務分掌報告会資料）に反映されていない。（年度当初から計画されていない。）</p> <p>○ 大幅な改善が必要である。</p>
N	<p>○ 実施状況や計画の進捗よくが「分からない」若しくは，上記の判断ができない場合は「N」と回答する。 無回答。</p>

表2 評価基準表②

有 ← 実施の有無 → 無

達成↑ねらい達成状況↓未達成		実施 （実施済み～取組進行中）	未実施 （計画進行中～今後実施）
	80%～100% 達成	A	B
	50%～80%未満 達成	B	C
	20%～50%未満 達成	C	D
20%未満 達成	D		

すでに実施済みの取組や進行中の取組に関しては，こちらの基準（4段階）で評価する。

今後，実施予定の取組や現在計画進行中の取組に関しては，こちらの基準（3段階）で評価する。※未実施ということで，「A」は付かない。

5 集計結果について

(1) 回収率：100%（70人）（管理職，特別支援教育看護師は除く）

(2) 課題項目，成果項目について

課題項目，成果項目を次のように設定する。

ア C，Dの評価が全体の20%以上・・・課題項目

イ Aの評価が全体の33%以上・・・成果項目

ウ Aの評価が全体の33%未満・・・成果項目を目指す項目

上段：中間

下段：最終

Aの割合 C，Dの割合

			Aの割合	C，Dの割合
教育公務員としての責任・自覚 (経営方針(1))	① (通常)	・学校全体として，人権尊重の教育のもと，教職員として，適切な言動に努めているか。	67.1% 42.3%	1.4% 2.8%
	② (通常)	・学校全体として，教育公務員としての責任と自覚をもち，服務規律の厳正確保に努めているか？	80.0% 74.6%	1.4% 1.4%
業務改善への取組 (経営方針(1)) (県の重点取組事項)	③ (重点)	・学校全体として，適正な勤務時間（定時退庁日，時間外勤務月45時間以内）を意識し，やるべきことに優先順位を付け，計画的に業務を行うことができているか？ (重点取組(1))	44.3% 49.3%	0.0% 4.2%
	④ (重点)	・学校全体として，教材研究の時間を確保し，データ整理や教材の共有化などの工夫を行いながら，効率的な授業準備がなされているか？ (重点取組(1))	42.9% 35.2%	2.9% 4.2%
安心して学べる教育環境の整備・改善 (経営方針(2))	⑤ (通常)	・学校全体として，ヒヤリハット事例を情報共有し，再発防止のための対策や改善策に努めているか？	84.3% 60.6%	0.0% 1.4%
	⑥ (重点)	・学校全体として，教室や学習の場，校外の施設などの整備・点検を行い，省エネを意識し，教育環境の改善に努めているか？ (重点取組(2))	68.6% 43.7%	5.7% 4.2%
児童生徒個々の役割の実感・実践につながる教育活動 (経営方針(3))	⑦ (重点)	・本校の教育課程は，目指す資質・能力を明確に提示してあるか。 (重点取組(3))	67.1% 52.1%	0.0% 0.0%
	⑧ (重点)	・本校の教育課程は，児童生徒個々の役割の実感・実践につながるよう編成されているか？ (重点取組(3))	61.4% 45.1%	1.4% 0.0%
	⑨ (通常)	・学校全体として新型コロナウイルス感染症対策に努め，様々な人的・物的資源の活用方法を工夫しながら，教育活動に取り入れることができたか。	65.7% 70.4%	2.9% 0.0%
一人一人の教育的ニーズに応える指導の充実 (経営方針(4))	⑩ (重点)	・学校全体として，一人一人の教育的ニーズを踏まえ，個別の指導計画を活用した授業づくりを行っているか？ (重点取組(4))	57.1% 45.1%	2.9% 4.2%
	⑪ (重点)	・学校全体として，教師間で目標や評価，今後の改善点等を共有しながら，授業実践及び学習評価の充実が図れているか？ (重点取組(4))	51.4% 46.5%	0.0% 1.4%
家庭・関係者（機関）等との協力・連携 (経営方針(5))	⑫ (重点)	・学校は，進路先の課題に基づく指導内容・指導方法の見直しをしながら，各学部における進路指導に努めているか？ (重点取組(5))	61.4% 50.7%	0.0% 0.0%
	⑬ (重点)	・学校全体として，将来の自立と社会参加に向け，児童生徒が自己選択・自己決定する機会の充実を図っているか？ (重点取組(5))	60.0% 54.9%	0.0% 2.8%
	⑭ (重点)	・学校全体として，児童生徒の健康の保持・増進（食に関する，歯磨き指導，運動の習慣化等）のための取組を家庭と連携して行っているか？ (重点取組(2))	48.6% 50.7%	0.0% 1.4%
本校における教育活動の理解・啓発 (経営方針(6))	⑮ (重点)	・学校は，センター的機能の充実を図るための取組（巡回相談，学校見学）を企画・運営し，本校の教育活動の理解・啓発や各学校間の学びの連続性の強化に努めているか？ (重点取組(6))	77.1% 63.4%	0.0% 0.0%
	⑯ (重点)	・学校は，ホームページの定期的な更新を行い本校の教育活動の理解と啓発に努めているか？ (重点取組(6))	48.6% 45.1%	2.9% 0.0%

6 集計結果を受けて

評価の数値や記述の内容を参考にし、最終評価に向けて重点的に取り組む項目を絞ったり、改善に向けた具体策を考えたりする。また来年度の学校経営方針や重点取組事項について検討を行う。

ア C, Dの評価が20%以上の項目

※ 課題項目のため具体的な対応が必要な項目と考える。 → ※該当項目なし

イ Aの評価が33%以上の項目

※ 成果項目ととらえ、さらにこの調子で取り組んで行く。 → ※16項目/16項目中

ウ Aの評価が33%未満の項目

※ 成果項目を目指す必要があると考える。 → ※該当項目なし

7 学校経営方針項目ごとの評価

※○内の 番号は、関連する評価項目番号、●内番号は、成果項目を目指す項目番号

項 目
(1) 公教育の基盤に立ち、人権尊重の教育のもと、教育公務員としての責任を自覚し、業務改善、教職員相互の信頼と協力により、心豊かにたくましく生きる人間を育成する。 ①②③④
(2) 保健、衛生及び安全管理の徹底を図り、児童生徒が安心して学べる教育環境を整備する。 ⑤⑥
(3) 新学習指導要領における育成を目指す「資質・能力」の3つの柱を踏まえ、持続可能な社会の実現のために児童生徒個々の役割の実感・実践につながる教育課程を編成する。 ⑦⑧⑨
(4) 児童生徒の的確な実態把握と分析による適切な個別の指導計画を作成し、一人一人の教育的ニーズに応える指導を行う。 ⑩⑪
(5) 家庭や児童福祉施設、近隣の幼・保・小・中・高等学校、地域社会及び関係機関との協力・連携を密にし、教育効果の向上と指導・支援の共有化を図る。 ⑫⑬⑭
(6) インクルーシブ教育の推進に向けて、大島地区唯一の特別支援学校としてセンター的役割を充実させ、特別支援教育の理念の浸透と本校教育活動の理解・啓発を推進する。 ⑮⑯

8 重点取組事項項目ごとの評価

※○内の番号は、関連する評価項目番号、●内番号は、成果項目を目指す項目番号

重点取組事項
(1) 教職員相互の信頼・協力を基盤とした働きやすい環境の改善・整備 ③④
(2) 安心・安全で学びやすく健康的な教育活動の整備・充実 ⑥⑭
(3) 目指す資質・能力とともに、社会のニーズを踏まえた適切な教育の追究⑦⑧
(4) 児童生徒の能力や特性等を踏まえた適切な教育の追究 ⑩⑪
(5) 関係機関との連携強化による教育効果の向上 ⑫⑬
(6) 特別支援教育のセンター的機能の充実 ⑮⑯

9 保護者・学園職員による評価

- (1) 対 象 : 本校の保護者108人(戸)、学園職員7人
- (2) 実施期間 : 令和4年12月5日(月)～令和4年12月23日(金)
- (3) 内 容 : 11の評価項目
- (4) 評価方法 : 4段階評価「4・3・2・1」と「0」

「4：そう思う」「3：ややそう思う」「2：あまりそう思わない」
「1：そう思わない」「0：分からない(見えてこない)」

(5) 集計結果

(ア) 回収率 : 83.5%(96人) 昨年度92.8%

(イ) 項目ごとの集計結果について

今年度から評価項目を変更したため、昨年度との比較は行っていない。

全体的に良好な評価をいただいたが、中には4段階評価中1と評価された保護者もいる項目があった。(以下の2つの項目)

- 「①学校は、児童生徒、職員ともに楽しく生き生きと学べる学校だと思いますか？」
- 「④学校は、保護者や地域と力を合わせて、教育活動を行っていると思いますか？」

令和4年度 学校評価(保護者・学園)結果

<評価基準> 4: そう思う 3: ややそう思う 2: あまりそう思わない 1: そう思わない 0: 分からない(見えてこない)

評価項目	評価の視点	平均値	評価(内訳)					計	
			4	3	2	1	0		
1	目指す 学校像	学校は、児童生徒、職員共に楽しく生き生きと学べる学校だと思いますか?	3.76	76	18	1	1	0	96
2		学校は、一人一人の教育的ニーズに応じて、児童生徒の良さや可能性をのばすための教育が行われていると感じますか?	3.73	73	20	3	0	0	96
3		学校は、児童生徒一人一人がもてる力を合わせて、教育活動を行っていると思いますか?	3.68	67	27	2	0	0	96
4		学校は、保護者や地域と力を合わせて、教育活動を行っていると思いますか?	3.67	67	27	1	1	0	96
5		学校は、将来の進路の選択のために必要な情報を提供していますか?	3.71	69	24	2	0	1	96
6	目指す 児童生徒像	お子さんは、以前よりも生活に活用できる力が身に付いてきたと思いますか?(新たにできるようになったこと、得意なこと、好きなことの活用等)	3.64	64	29	3	0	0	96
7		お子さんは、自分らしく学校生活を送っていると感じますか?	3.68	69	23	4	0	0	96
8		お子さんの主体性が、以前よりも育ってきたと感じますか?(自分から考えて行動する姿や意思表示、自我の芽生え等)	3.59	61	31	4	0	0	96
9	目指す 教師像	本校の職員は、児童生徒に寄り添いながら教育活動を行っていますか?	3.72	72	21	3	0	0	96
10		本校の職員は、児童生徒の発達段階や本人・保護者の願いを踏まえ、教育活動を行っていますか?	3.67	67	26	3	0	0	96
11		本校の職員は、児童生徒のことで連絡や相談をしたときに適切な対応を行っていますか?	3.77	75	20	1	0	0	96

10 分析

(1) 教職員による自己評価の結果について

- 課題項目(0項目/16項目中)
- 成果項目(16項目/16項目中)
- 成果項目を目指す項目(0項目/16項目中)

中間評価と比較すると、

「③適正な勤務時間を意識し、やるべきことに優先順位をつけ、計画的に業務を行う」

「⑨新型コロナウイルス感染症対策に努め、様々な人的・物的資源の活用方法を工夫しながら、教育活動に取り入れることができたか」

「⑭児童生徒の健康の保持・増進のための取組を家庭と連携して行っているか」

という項目においては、中間評価よりもA評価の割合が上がっている。特に、⑨の項目では、コロナ禍による校外学習や外部講師の学習機会の制限が緩和され、感染対策に努めながら実施できたことが成果につながっている。

その他の項目においては、中間評価よりも数値的には下がっているものの、全ての項目でA評価33%以上となり、成果項目となった。

また、C・D項目が20%以上の課題項目も該当がなかったが、全項目中、A評価の割合が一番低い項目として、

「④教材研究の時間を確保し、データ整理や教材の共有化などの工夫を行いながら、効果的な授業準備がなされているか」が挙げられる。この項目については、毎年業務改善の視点から課題に挙げられており、本年度は毎週水曜日、金曜日の放課後に教材研究の時間を確保してきたが、活用状況や教材の共有化について継続的な課題と言える。

全体的な数値としては、概ね良好の結果であるが、中には今後の課題と捉えている職員もあり、以下のような自由記述欄への回答もいくつかあった。

- ・ 行事や教育内容、職員の校務分掌係の仕事内容などの精選がまだ不十分・・・(管理職、教務)
- ・ 特定の職員に負担が掛かりすぎないように、公平な業務・授業担当の分担が必要・・・(学部主事、学年部)
- ・ 教材研究の時間確保(会議等の精選)、空き時間の確保(授業の組み方)・・・(教務、時間割係)
- ・ 教科ごとの指導内容の次年度への引き継ぎ(教材データの整理)・・・(学習指導係、教育課程係、情報教育係)
- ・ 安全面での情報の共有(ヒヤリハットの周知の方法の工夫)・・・(安全指導係)
- ・ 施設面の老朽化による安全面への懸念・・・(事務部、安全指導係)
- ・ 節電、節水、印刷紙・インクの消耗・・・(学部主事、事務部)
- ・ 教育課程の活用・・・(教育課程係)
- ・ 個別の支援計画・個別の指導計画の活用・・・(校内支援係、テーマ研修係)
- ・ テーマ研修の中で、今後の指導法の改善策までの検討を行いたい・・・(テーマ研修係)
- ・ 学部をまたいだ協力体制作り・・・(学部主事、教務)
- ・ 早期からの進路指導を・・・(進路指導係)
- ・ 児童生徒が自己選択・自己決定できるための支援の在り方・・・(各担任)
- ・ 本校のセンター的機能の取組についての校内での周知・・・(校外支援係)
- ・ ホームページを確認したことがない職員がいる・・・(教務)
- ・ 1人1台タブレット配布による、設備・備品の整備・・・(学習指導係、情報教育係)

挙げられた意見をもとに、()内の係を中心に来年度への課題としていきたい。

(2) 保護者・学園職員による評価の結果について

4段階中1の評価をされた方がいる2つの項目では、全体的にはAやB評価の割合も高いが、中には学校に対して満足できない状況にある保護者の方もいらっしゃる事が分かった。学校のできることは、子どもの成長した姿、がんばっている姿、たくさんの笑顔返すこと・・・。児童生徒の成長について学校と家庭間で情報共有していくことも今後の課題と言える。

自由記述欄には、「本人らしくいられる環境に毎日感謝」

「学校での様子を聞くと成長していると感じる」

「子どもが楽しく通えていることがなにより」など、有り難いコメントも多数いただいたが、課題として、以下のような御意見もいただいた。

- ・ 子ども本人の訴えに対し、もう少し寄り添っていただきたい・・・
 - ・ 学習の面がどのくらいできるのか見えてこない・・・
 - ・ 現場実習に関して、本人のペースで日数など配慮してもらいたい・・・
 - ・ 生徒の生い立ちを理解した上での配慮・支援を行ってほしい・・・
- 各学部、各係で来年度へ向けての課題としていきたい。

11 来年度に向けた具体的取組

★ 業務改善の推進

① 効果的な授業準備(教材・教具の共有化、データ整理)

R3年度より、学校全体での取組(大島養護学校の1Action)として設定している。これまでの取組を生かしつつ、改善できる点を探りながら、業務改善へつなげていきたい。

使用した教材や指導内容の記録などを保存する場所を確認の上、それぞれの職員でデータや教材の保存をしていくようにする。

② 教材研究の時間の確保

毎週水・金の放課後に設定。

職員全員に関わる会議等は、できる限りこの日には設定をしないようにする。

③ 公平な業務分担

時間割係や学部主事から提案された行事や授業担当割り振りについて、各学部、学年部で授業・行事担当に量的・時期的な偏りがないかを確認する。

★ **児童生徒に関する情報の共有の充実**

- ① 職員間での情報共有
 - ・ 定例ケース会議の充実
(個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成, 見直し, 評価, 来年度への引き継ぎ)
 - ・ テーマ研修を通じた, 職員間での児童生徒に関する情報交換の充実
 - ・ 指導に関して悩んだときに, 何でも相談できるような雰囲気作り
- ② 保護者との情報共有
 - ・ 毎日の連絡帳での情報提供
 - ・ 教育相談期間の活用
 - ・ P T A 研修の活用
- ③ 地域, 関係機関との情報共有
 - ・ 学園, 放デイのお迎え時や実習巡回指導等での情報提供
 - ・ 様々な関係者による学校見学の推進

12 学校関係者評価

※ 学校関係者評価委員 5 人の方に, 第 3 回学校関係者評価委員会時に評価していただきました。

令和 4 年度学校関係者評価集計結果

4 : そう思う 3 : やや思う 2 : あまり思わない 1 : 思わない

評価項目	観 点	評 定	意 見 等
自己評価の実施に関する評価	○ 自己評価のアンケートは重点目標など具体的な目標や計画を評価する内容になっていたか。	4. 0	【4. 4. 4. 4, 4】
	○ 自己評価のアンケートの内容は学校の取組を客観的に評価できるものになっていたか。	4. 0	【4. 4. 4. 4, 4】
自己評価結果を踏まえた改善策に関する評価	○ 自己評価の結果の分析と考察は適切になされていたか。	4. 0	【4. 4. 4. 4, 4】
	○ 自己評価の結果は, 学校経営の改善に役立つものになっていたか。	4. 0	【4. 4. 4. 4, 4】
	○ 自己評価結果を踏まえた今後の改善策は明確に示されていたか。	4. 0	【4. 4. 4. 4, 4】 ・ 具体的にまとめられておりよかった。
学校関係者評価委員会に関する評価	○ 学校関係者評価委員会の資料は, わかりやすくまとめてあり不備はなかったか。	4. 0	【4. 4. 4. 4, 4】
	○ 学校関係者評価委員会は活発な意見交換を行う環境(雰囲気)であったか。	4. 0	【4. 4. 4. 4, 4】 ・ 気軽に意見を述べられる雰囲気がありよかった。
その他 (自由記述) 評価委員会で 知りたいこと などについて も御意見を ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回丁寧に評価と分析が行われていると思います。PDCA で具体的に解決策が実行できていくといいと思います。 ・ 保護者からの (一) の意見もずいぶん少なくなっていると思います。 ・ 学校の取組がよく理解できました。今後とも連携を深め, 大島しかできない独自性も含め, 実践していけたらと思います。地域の力を全力で子どもたちに向けられたらと思います。 ・ いつも内容の充実した会となっており, 参加する者として非常に勉強になっている次第です。資料作成等, 評価分析等, 自分の職場でも生かしてまいりたいと思います。ありがとうございました。 		